

第223回 全経簿記検定試験 上級 一財務会計一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 〔予想配点：各⑤点，合計 50 点〕

	正誤	理 由
1.	×	未収収益は、一定の契約に従い、継続して役務の提供を行う場合、すでに提供した役務に対して、いまだその対価の支払いを受けていないものである。
2.	×	破産更生債権等に関する貸倒見積高は、債権額から担保の処分見込み額および保証による回収見込額を減額した残額とする。
3.	○	
4.	○	
5.	×	株式交付費は、損益取引であるため支出時の費用とする。
6.	×	資産除去債務の調整額は、期首の負債の帳簿価額に当初負債計上時の割引率を乗じて算定する。
7.	×	株主資本は、資本金、資本剰余金および利益剰余金に区分する
8.	○	
9.	○	
10.	○	

問題 2〔予想配点：合計 30 点〕

問 1〔採点基準：⑧点〕

棚卸資産の場合、販売によってのみ投下資金の回収を図るため、時価として正味売却価額を用いる。

問 2〔採点基準：(1)…⑧点、(2)…③点〕

①	<u>製造業における原材料のように再調達原価の方が把握しやすく、正味売却価額</u>
	<u>が再調達原価に歩調を合わせて動く</u> という特徴を有している場合に当該価額を
	用いることができる。
②	<u>継続して適用することを条件</u> で再調達原価を用いることができる。

問 3〔採点基準：(1)…③点、(2)…③点〕

(1)	トレーディング目的とは、 <u>当初から加工や販売の努力を行うことなく単に市場</u>
	<u>価格の変動により利益を得る</u> ことである。
(2)	トレーディング目的で保有する棚卸資産の会計処理は、 <u>売買目的有価証券</u> と同様である。

問題 3〔予想配点：合計 20 点〕

問 1〔採点基準：⑩点〕

年金資産は退職給付の支払いのためのみに使用することが制度的に担保されている
ため、これを収益獲得のために保有する一般の資産と同様に企業の貸借対照表に計上する
と、財務諸表の利用者に誤解を与えるおそれがあると考えられるためである。

問 2〔採点基準：⑩点〕

差異の一部が除かれた積立状況を示す額を貸借対照表に計上する場合、積立超過のとき
に負債が計上されたり、積立不足のときに資産が計上されたりすることがあり得るため、
退職給付制度に係る状況について財務諸表利用者の理解を妨げていると
考えられるためである。